

令和 2 年 第 2 回  
京田辺市議会定例会

一般質問(質問項目・要旨)

傍 聴 用

京 田 辺 市 議 会

## 6月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
6月10日 (水)	1	た は ら の ぶ ゆ き <b>田 原 延 行</b> (自 民 一 新 会)	1
	2	う え だ た け し <b>上 田 毅</b> (京都南風の会・日本維新の会クラブ)	3
	3	は し も と よ し ゆ き <b>橋 本 善 之</b> (自 民 一 新 会)	5
	4	む こ う が わ ひ ろ し <b>向 川 弘</b> (公 明 党)	7
	5	ま す と み り つ こ <b>増 富 理 津 子</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	9
6月12日 (金)	6	な が た か ず や <b>長 田 和 也</b> (N E X T京田辺)	10
	7	お か も と り ょ う い ち <b>岡 本 亮 一</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	12
	8	か た お か つ と む <b>片 岡 勉</b> (N E X T京田辺)	13
	9	え の も と こ う す け <b>榎 本 昂 輔</b> (自 民 一 新 会)	15

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
6月15日 (月)	10	つぎたのりこ <b>次田典子</b> (市民とともに歩む女性議員の会)	16
	11	なんぶとしこ <b>南部登志子</b> (無 会 派)	17
	12	あおきこうじろう <b>青木綱次郎</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	19
	13	よしたか ゆ か こ <b>吉高裕佳子</b> (市民とともに歩む女性議員の会)	21

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

## 1 新型コロナウイルス感染症対策に対する市独自支援策について

- (1) 国の緊急経済対策の一環として、国民一人当たり10万円を支給する「特別定額給付金給付事業」に関して、本市では、生活に困窮する市民に一日も早い給付を目的に今年度一般会計補正予算を、市長は専決処分した。その結果を受けて市民に順次給付しているが、府下各自治体で給付時期にばらつきが見られる。そのような中で、本市として一連の事務手続きに対する検証結果を問う。
- (2) 小・中学校では3か月に及ぶ休業期間の中、この間の学習の遅れをどのように取り戻すのかが大きな課題である。また、学校休業対応策について、小・中学校の臨時休業による、児童生徒の学力低下の防止策として、児童生徒向け端末機器と高速ネットワーク環境を早急に整える必要があると考える。「コロナ第2波・第3波」を想定し、学校休業でも遠隔授業や在宅学習が可能となるシステムの環境整備について、学校現場での取り組みなども含めて、教育長の見解を問う。

## 2 安全で安心なまちづくりについて

- (1) 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、市民の生活様式にも少なからず影響が出てくる。災害等により避難所開設された場合のクラスター感染をどう防ぐのか。訓練の在り方を検証する必要があると思うが市の見解を問う。
- (2) 地域の防災力向上の一環として、市は、企業・事業所、店舗等にご協力いただく「災害時協力事業所登録制度」を制定している。市民にとって非常に心強い制度だと思うが、いざという時に備え平時の連携はとっているのか。また、協力企業・事業所、店舗の拡大に向けどのような取り組みをしているのかを問う。

- (3) 防犯カメラの設置は、市内駅前を中心に今年度には6台設置し合計38台となるが、今後の設置目標と整備スケジュールを問う。
- (4) 子ども達が巻き込まれる事件や犯罪が全国で多数発生していることから、子ども達が安心して暮らせる環境づくりが重要である。いざというときに子ども達が駆け込める避難所として「こども110番のいえ」の登録者を増やしてはと考えるが、市の見解を問う。

### 3 地域の要望について

- (1) 市道池ノ端大住ヶ丘線の京阪バス「<sup>たて</sup>館」停留所は待合スペースがなく、バス利用者にとっては非常に危険な状態である。安全な待合場所の設置を求める。
- (2) 閑静な住宅地に隣接した一部の市街化調整区域には資材置場などが設置され、大型車両が住宅街を通行する。地域住民の生活環境を守るための土地利用制限や大型車両の通行規制ができないかを問う。

## 1 市長就任 1 年が経過する中での基本認識及び市政運営の視点と今後について

- (1) 基本認識において、「我が国においては、国際社会の一員として『SDGs』の達成に向けた取り組みをしっかりと進めなければならず、子どもから高齢者、障がいのある人、外国人までだれもが快適に暮らし、移動できる環境づくりが求められているなか、本市においては、だれもが社会のあらゆる分野で活躍でき、安全・安心に暮らせる地域社会を構築しなければならない」としているが、SDGsの17の目標そして169のターゲットに対する具体策について問う。
- (2) 前市長から引き継いだ「第3次総合計画」と4月からスタートした「第4次総合計画」について、市長就任から1年経過後の今と、これからの市政運営をしていく上で、市長から見た視点の違いを問う。
- (3) 「第4次総合計画」は、本市が抱える地域課題や将来のまちづくりを見据えて策定したとしているが、第4次総合計画になぜ「南部住民センター建設」を含めなかったのか。見解を問う。

## 2 令和2年度主要施策について

- (1) 第4次総合計画まちづくりプランにおいて、「5つの重点プロジェクト」を確実に進めるとあるが、令和2年度当初予算総計437億7,400万円をもって市長は具体的にどの計画を主軸に進めるのかを問う。
- (2) 安全・安心の取り組みについて、地域防犯対策では防犯対策の強化を目指し、子どもの安全を主眼に主要幹線道路の交差点や通学路、一定規模以上の公園などに防犯カメラを設置するとしているが、特に通学路における防犯カメラはいつを目途に設置するのか、スケジュール等を問う。

(3) 防災・減災対策も重要な課題であるが、今現在、新型コロナウイルス感染において、新規感染者数がようやく減少してきた。

しかしながら今後、第2波・第3波が来るであろうとの見解である。第1波を鑑み、今後の対策及び確認された場合の対処方法を問う。

### 3 文化・教育について

(1) 「教育環境の充実として、ICT環境の実現を目指し、国が定めるGIGA（ギガ）スクール構想に基づき、高速大容量通信ネットワーク環境整備に着手する」としているが、具体案を問う。

(2) 中学校完全給食の早期実現を目指して、もうすぐ1年が過ぎようとしている。実施方式、立地場所、施設整備・運営の手法等を盛り込んだ基本計画策定に取り組むとしているが、本件に関して市長任期内で完結させようと考えているのかを問う。

### 4 田園都市について

公共交通の充実では、「地域公共交通活性化協議会」を設置し、バス交通だけでなく、鉄道やタクシーなど他の公共交通も含めた「公共交通に関する計画」の策定に着手するとしているが、市の目標や考え方を問う。

**1 新型コロナウイルス集団感染に係る一連の取り組みと検証について**

- (1) 人々が経験したことのない新型コロナウイルス集団感染により本市でも感染者が発生している。市としてのこれまでの取り組み経過とその検証結果を問う。
- (2) 緊急事態宣言は解除されたが今後の感染防止のため一人ひとりが従来の生活様式を大きく改めることが求められる。しかし、一方で第2波、第3波の新型コロナウイルス集団感染を想定しなければならない。これまでの教訓をもとに今後の対策について問う。
- (3) 令和2年度施政方針に掲げる施策は、新型コロナウイルス集団感染により見直し等が必要と考えられる。市長の考えを問う。

**2 都市経営の視点に立った戦略的まちづくりについて**

第4次京田辺市総合計画基本構想の決定を受け、まちづくりプランや都市計画マスタープランを始めとした具体のまちづくり計画が検討され実行に移されることになる。本市の持つ強みを生かした戦略的なまちづくりが重要である。

- (1) 本市の持つ「強み」、「弱み」はどのように認識しているのか。
- (2) 「大学のあるまち」をどのように生かしていくのか。
- (3) 高速道路や新幹線など社会資本をどのようにまちづくりに生かしていくのか。
- (4) 都市計画マスタープランの改定方針について問う。
- (5) 消費地近郊の強みを生かし、集落の実態に応じた農業政策について問う。

**3 木津川堤内地における治水対策について**



橋本 善之

田辺中央地区を含む田辺地区全体の治水対策については、新西浜樋門の新設整備の方向が示され、府においては防賀川改修の基本設計に着手されている。これまでの市の積極的な活動により、本市の治水対策が大きく前進している。

新西浜樋門の新設整備と併せた田辺排水機場改修及び関連する防賀川改修の進捗と今後の見通しを問う。

**1 特別定額給付金の振込時期と基準日後に生まれた乳児への対応を市長に問う**

- (1) 生活資金に余裕のない世帯が、特別定額給付金をマイナンバーカードによるWeb申請受付開始直後に申請したにもかかわらず、振込までの期間が3週間以上かかっている世帯がある。把握状況と原因を問うとともに対策を明らかにせよ。
- (2) 4月28日以降に生まれた乳児は特別定額給付金の対象外になっていることは問題である。4月28日以降も大変な状況が継続していることに対して現金給付をすべき。

**2 詐欺防止及び情報提供の拡充や相談窓口充実等の市民を守る施策を問う**

- (1) 景気や市民生活の変化により安全リスクの悪化が懸念され、防犯機能付電話機のさらなる推進が望まれる。4月から開始された防犯機能付電話機購入の補助制度に至った経緯の説明を求めるとともに、さらに無償貸与及び設置をサポートする方式に拡充せよ。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する市の情報提供がわかりにくいとの声が多い。HP表示の改善及びHPを見ることができない市民へもわかりやすい周知とワンストップ相談窓口・電話受付の拡充を実施せよ。

**3 避難所における新型コロナウイルス感染症対策を問う**

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応に係る感染防止のための備蓄品は流通備蓄では必要数を確保できない。独自備蓄の状況と必要品の拡充計画を問う。(非接触体温計、消毒液、マスク、カプセル型テント等)
- (2) 避難所運営マニュアルは、新型コロナウイルス感染症の対応はできて

いるのか。早急に対応済のマニュアルによる避難所関係者への徹底を図れ。

#### **4 小・中学校の遠隔・オンライン学習及びICT化の施策を問う**

- (1) 外出自粛期間における宿題の活用や動画等による自宅学習の状況に関して、本市の学校間で格差が生じている。現状を問うとともに、その対策を図れ。
- (2) GIGAスクール構想を早期に実行するとともに、タブレット・ICT化等による双方向学習の実施を急げ。

### 1 地震や豪雨災害など自然災害時のウイルス感染症対策について

感染症と自然災害による複合災害のリスクが高まる中、従来の防災計画の見直しと充実が早急に必要と考えるが、市の認識と具体的対策を問う。

- (1) 避難の在り方、避難所での感染リスクを避けるための具体的対策を。
- (2) 防災用備品の拡充を。
- (3) 熱中症への対策も視野に入れての取り組みを。
- (4) 高齢者や体の不自由な方への支援の具体化を。

### 2 障がい者施策について

2016年4月に施行された「障害者差別解消法」に基づき、障がいを理由とする差別の解消に関して職員が適切に対応するための事項を定めた、京田辺市職員対応要領が策定された。

- (1) 要領で謳われている理念が生かされた職員対応がされているのか問う。
- (2) 市として、対応する条例の制定についての考えは。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策での情報提供や給付金申請などへの配慮がなされたのか。
- (4) 障がい者スポーツの振興について、市の認識と取り組みの現状を問う。

### 3 食品ロス削減の推進について

(1) 「食品ロスの削減の推進に関する法律」(略称 食品ロス削減推進法)が、2019年5月31日に公布され、同年10月1日に施行された。本市の認識と取り組みについて問う。

- (2) フードバンクとの連携を。
- (3) 子育て支援、高齢者支援との協働の取り組みを。

**1 新型コロナウイルス感染症対策について**

(1) 新型コロナウイルス感染症について、国・府・そして本市における独自対応など、今まで経験したことがない状況の中で対応が行われている。すべてがすべてベストとまではいかないまでも、我々の会派としては、今回の本市の取り組みについて一定評価をしているところである。そのような状況を踏まえ、今回限られた予算の中で、市長として市独自の取り組みにおける支援の在り方など、どこにターゲットを置き、対応されてきたのか。

また第二波、第三波が発生した場合、次なる支援の対応について、どのような方向性をもっていこうとされるのか。基本的な市長の考えを問う。

(2) この度の外出自粛要請により、高齢者の居場所づくりの活動が開催できず、高齢者が自宅に引きこもるという事態が全国的な課題となっている。今後も3密対策が必要な中、高齢者の健康管理についてどのような取り組みを実施されるのか。また、以前からも質問している「フレイル対応」について地域の自治会を中心とした取り組みと合わせ、民間の専門機関でも対応し、早期の予防ができる体制を構築する必要があると思うが、市の考えを問う。

(3) 今回の緊急事態宣言中に話題となったのが、期間中における災害時の避難所問題である。分散避難の考え方や、避難場所における備品対応など、これからの季節に対応するため、早期に取り組むべき課題と認識するが、市の考えを問う。

(4) この度の新型コロナウイルス感染症や災害などの非常事態では、即応性のある広報力も問われるところである。現在のSNSを利用した広報に加え、より利用者の多いコミュニケーションアプリでのプッシュ通知を利用した広報体制を準備中とのことであったが、現在の進捗を問う。

## 2 小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策による、小・中学校の臨時休業によって、本年度においては残り10か月で例年の1年分のカリキュラムを消化することになり、児童・生徒への負担が増すと考えるが、本年度のスケジュール及び、児童・生徒の負担軽減への対応を問う。
- (2) この度の小・中学校臨時休業で、ICTを活用した学習支援整備の重要性が一層増したと考える。GIGAスクール構想と並行し、早期に家庭学習支援へのICTの有効活用が求められるが、今後どのように対応していくのか、市の考えを問う。

## 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 新型コロナウイルス感染の疑いのある人が、速やかにPCR検査ができるよう各地域に「PCR検査センター」を設置する必要がある。そのために必要な予算や人員体制、医療機器を国の責任で確保するよう求めよ。
- (2) 中小・小規模事業者の営業と暮らしを守る支援策について、以下の点を問う。
- ア 家賃などの固定費補助にも使える国の「持続化給付金（法人200万円、個人100万円）」について、給付対象を「前年同月比で事業収入が50%以上減少した月があること」を条件にしているが、損失を受けた事業者が幅広く利用できるようにすべきと考えるが、市の見解を問う。
- イ 本市の「中小企業事業継続支援金（10万円）」について、支援金制度の継続と条件緩和を求める。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済危機への対応として、消費税減税を国へ求めよ。
- (4) 少人数学級の実施について、以下の点を問う。
- ア 感染拡大防止のために3密（密閉、密集、密接）の回避を呼びかけているが、学校は3密を回避しにくい場所である。感染拡大防止をはじめ、教員が子ども達一人ひとりと丁寧に接することができる少人数学級の実施を求める。
- イ 教員の働き方について、長時間労働が社会問題となっている。その解決策として、小・中学校の教員数を増やすべきと考えるが、教育長の認識を問う。

**1 未利用市有財産の有効活用について**

- (1) 未利用市有財産の有効活用に関する取り組み状況について問う。
- ア 未利用市有財産の管理体制や、有効活用のための対応について問う。
  - イ 最近の有効活用の実績は。(普通財産の貸付け・売却、行政財産の空きスペースの使用など)
- (2) 未利用となっている市有財産の有効活用に関して、市としての見解は。

**2 近鉄興戸駅西側における都市基盤整備の取り組みについて**

- (1) 近鉄興戸駅付近の排水困難地の解消に向けた取り組み状況と今後の見通しについて問う。
- (2) 駅の西側整備について
- ア 防賀川の付け替えで残った廃川敷と面的整備の見直しについて問う。
  - イ JR学研都市線の第一和井田踏切、第二和井田踏切の拡幅の見通しについて問う。

**3 蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応について**

- (1) 救急現場での申し出の状況について問う。(2019年の実績)
- (2) 本市における現在の対応状況と今後の対応について問う。

**4 新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの市独自の取り組みと今後の対応について**

- (1) これまで市独自で行った取り組みに対する評価について問う。



(2) 今後の対応と備えについて問う。

ア 集団感染に備えた本市の体制づくり及び備蓄の考え方について

イ 市民生活や事業活動の実態把握の実施について

ウ 新しい生活様式の定着に向けての取り組みについて

### 1 ICT教育の推進について

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大により、今後も休校となることが予想されるが、小・中学生や高校生向けの学習支援の一環として、各家庭にICT機器の導入や子ども向けに動画教材の配信を始める必要があると考えるが、市の考えは。
- (2) 子どものインターネットやSNSの利用に関して、さまざまなトラブルを避けるためにICTリテラシーの向上を目的とした学習等を行う予定はあるのか。

### 2 ICTを活用した市職員の働き方改革について

- (1) 民間企業はじめ地方自治体がタブレット型PCなどのICT機器の導入によるペーパーレス化を進めているが、本市のICT機器の導入について、市の考えは。
- (2) 現在本市の業務における印刷代・封筒代・書類の発送費は年間どのくらいか。
- (3) 職員間におけるビジネスチャットツールの導入について、市の考えは。
- (4) 職員のテレワークについて、今後制度化していく予定は。
- (5) ホームページの情報がどこに何があるのか分かりづらい現状であるが、ホームページのリニューアルを検討しているのか、市の考えは。

### 3 本市の魅力発信について

昨年8月に開催した第4次京田辺市総合計画策定のための高校生・大学生ワークショップでも「京田辺の“映(ば)え”スポットの発信が必要」という意見があったが、本市として映えスポットを今後どのように創出し、発信していくのか、市の考えは

### 1 市長に問う

- (1) 新型コロナウイルス感染症による影響と今後のまちづくりについて、市長の考えを問う。
- (2) 財政が厳しくなっていくなか、事業の見直しなどはしないのか。
- (3) 感染防止策として、職員の出勤を半数交代制にしたが、もっと有効に人材を活用すべきだ。

### 2 全ての人に教育機会を確保せよ

- (1) 新型コロナウイルス感染症による休校時、不登校生徒を含め全ての児童・生徒に対し、どのような対応をとったのか。
- (2) 京都市立洛友中学校の入学資格が緩和されたことによる、本市への問い合わせなどの状況はどうか。
- (3) 2020年国勢調査では、小・中学校別の卒業を問う項目が加えられた。市として正確に調査するために、調査員に周知徹底などすべきだ。

### 3 枚方市とのごみ処理広域化問題について

- (1) 甘南備園の建て替えが2年延びたことの原因と、そのことによる財政を含めた影響を明確にせよ。
- (2) 土地買収や整備に多額の市費を注ぎ込むこととなっているが、あまりにも人口規模が違いすぎるため、枚方市に一定の負担を要求すべきだ。
- (3) 土砂災害警戒区域である認識を市長として持っているならば、危険回避すべきだ。

**1 新型コロナウイルス感染症による影響**

- (1) 現時点での市財政への影響、今後の見通しについて問う。
- (2) 市事業への影響と今後の見直しの可能性について問う。
- (3) 市民生活への影響（失業者・休職者・生活保護申請者数の実態など）と、その対策について問う。
- (4) 市内業者への影響とその対策について問う。

**2 新型コロナウイルス感染症対策～第二波、第三波に備えて～**

- (1) 職員対策
  - ア 庁舎職員の勤務を一律2班体制として隔日出勤することは、実務面から考えると適切ではなかった。今後は再考されたい。
  - イ 消防職員や保育職員、学童職員、現業職員（パート・アルバイト・委託等含む）等に対する感染予防対策の一層の充実を求める。
  - ウ 学童職員の確保を。
- (2) 高齢者・障がい者（児）対策
  - ア 生活支援・在宅介護支援の充実、そのための見守り要員や介護ヘルパーの確保と支援の充実を。
  - イ 障がい者（児）の日中一時支援や行動援護の際は公的施設の利用を可能に。
  - ウ 在宅介護をされるご家族への支援を。
- (3) 小中学生への学習支援対策
  - ア 休校中の学習不足をどのように補っていくのか。
  - イ オンライン授業の導入とそのための環境整備を。
- (4) 感染者とそのご家族に対して適切な支援を。とりわけ乳幼児や要介護者がおられるご家庭への対応策を求める。

(5) 医療対策

ア 市内及び近隣における医療体制の現状を問う。

イ 医療従事者への支援の充実を。

(6) 外国人留学生や外国人技能実習生（労働者）の生活実態の把握を行ない、適切な対応を。

## 1 京田辺市行政改革実行計画に関して

2020年3月に、20～23年度を期間とした「京田辺市行政改革実行計画」を策定されたが、同計画について問う。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、計画全体の見直しをすべき。

ア 医療、保健体制の充実強化をはじめ、様々な災害に備えた余裕のある職員体制の整備を進めるべき。

イ 京都府に対し、保健所の配置を見直し、京田辺市の保健所分室を「田辺保健所」として復活させるように要望すべき。

ウ 受益者負担の見直しや、補助金等見直しのプログラムについては、現在の情勢からみて相応しくなく、廃止すべき。

(2) 「透明性の高い行政の推進」に関して

様々な審議会等の情報公開について、その議事録や提出資料の公開などに大きな差がある。原則として、個人情報に関わるもの以外のすべての議事録、資料などを公開すべきである。

とりわけ教育委員会部局では、教育委員会の議事録も公開されておらず、早急に改善を求める。

## 2 中学校給食基本計画策定に関して

(1) 中学校給食基本計画策定について、その進捗状況と、現時点での概要などについて明らかにされたい。

(2) 計画の策定段階から、中学校における食育の充実、及び地産地消の積極的推進の観点を盛り込むべきと考えるが、教育委員会の見解を明らかにされたい。

## 3 JR大住駅へのエレベーター設置について

J R 大住駅へのエレベーター設置について、現在の進捗状況と今後の見通しについて、明らかにされたい。

#### **4 防賀川、吉原川改修の見通しについて**

- (1) 防賀川、吉原川改修の現状と、改修完了の見通しを明らかにされたい。
- (2) 出水期を迎えるが、夏から秋にかけての大雨などの対策について、明らかにされたい。

## 1 新型コロナウイルス感染症による子ども達への影響と今後の体制について

- (1) 休校中の子ども達への教育機会の確保が課題として残った。新型コロナウイルス感染症対策としての次の備えだけでなく、不登校児童生徒等の日常の教育確保にもつながる、双方向型のオンライン授業の早急な実現を求める。
- (2) 長期間の休校の影響から、特に発達障害、起立性調節障害の子ども達やHSC（ハイリーセンシティブチャイルド）という、人一倍敏感な特性を持つ子ども達には配慮が必要であり、表に出にくい子ども達の心のSOSを見逃さないためにSC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）のさらなる充実と連携が必要と考えるが、教育委員会の見解は。
- (3) 今年の夏も酷暑が予測されており、さらに夏休みが短縮されることで、例年よりも熱中症の危険性が増すことから、全小・中学校にWBGT測定器を設置し、活用することが必要であると考えますがどうか。また、熱中症の後遺症には、高次脳機能障害もあるが、本人も周囲も判断しにくく理解もされづらいため見過ごされてしまいがちである。高次脳機能障害のリスクも十分踏まえながら日常の学校活動、部活動や体育活動を行うことが教師や周囲の大人に求められると考えるが見解を問う。

## 2 新型コロナウイルス感染症によるくらしの影響について

- (1) 生活困窮者自立支援事業の相談件数と申請状況は。
- (2) 本年2月から4月までの生活保護申請者と新規受給者の人数並びに昨年同月と比較した場合の増減数は。



- (3) 今後、さまざまな相談が増えるものと予測されるが、相談体制の増員と制度の周知を図るべきと考えるが、市の見解は。

### **3 新型コロナウイルス感染症等の感染リスクを避ける災害時の避難について**

- (1) 新型コロナウイルス感染症等、感染症にも対応した避難所とするため備品の補充や環境整備、分散型避難の準備も早急に行うことを求める。
- (2) 新型コロナウイルス感染症等、感染症を考慮した避難所運営方針を新たに作成し、市民への周知を図るべきと考えるが、市の見解は。